

記載例

死亡届

令和4年4月1日届出

愛媛県松山市長殿

受理 令和 年 月 日 第 号 送付 令和 年 月 日 第 号 愛媛県松山市長印

死亡診断書(死体検案書)は病院(医師)が記入します。

死亡診断書(死体検案書)

〔書費〕は、我が国の死因統計作成の資料として用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

死亡届診断書のとおり、ご記入ください。

国勢調査の年のみご記入ください。次回は令和7年

死亡届のメインフォーム。氏名(松山太郎)、生年月日(昭和YY年3月25日)、死亡日時(令和4年4月1日午後3時30分)、住所(松山市春日町83番地2)、職業(00)。

記入の注意 鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに□のようにするしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

死亡診断書(死体検案書)のメインフォーム。死亡したとき(令和4年4月1日午後3時30分)、死亡したところ(松山市春日町83番地)、死亡の原因、死因の種類、追加事項、医師署名(三津 三郎)。

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付けて書いてください。

夜の1時は「午前0時」と、夜の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の種類を「3」に書き添えてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。1欄では、各傷病について傷病の型(例:急性)、病名(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできる限り書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊婦満期」、また、分娩中の死亡の場合は「妊婦満期後産後満期」と書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういった状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

押印は任意です。(押印はシャチハタ印は不可)

連絡先 電話080 9486 3455) 自宅・勤務先